

告 知 板

何でも(多種目) スポーツ教室

- ◇期 間：平成22年 3月11日まで
- ◇対 象：高校生以上の市民
- ◇会 場：稚内市緑体育館 (緑2)
- ◇曜 日：毎週木曜日
- ◇時 間：午後6:30~8:30
- ◇受講料：5000円

問い合わせや申込は
体協事務局へ
[TEL28-1111]

追加募集をしています

- ジュニアスポーツスクール 3・4年生
- ◇対象：小学3・4年生
- ◇会場：稚内市体育館(宝来4)
- ◇曜日：毎週水曜日
- ◇時間：午後4:30~6:00

- ジュニアスポーツスクール 5・6年生
- ◇対象：小学5・6年生
- ◇会場：北=中央小体育館
南=緑体育館
- ◇曜日：毎週木曜日
- ◇時間：午後4:30~6:00

スポーツに親しみながら丈夫な身体をつくるお手伝いをします。

ご利用ください

総合体育館には、メインのアリーナや小体育室のほかにもランニングをしたり筋力アップや各種トレーニングのできる施設が整っています。

メタボが気になる方にお勧めです。

●ランニングコース

観覧席と一部併用した1周170メートルのランニングコースがあります。

ランニングはもちろんのことウォーキングにも最適です。

※大会時は使用禁止です。

●トレーニングルーム

昨年、従来の器具を一新し、プロスポーツマンのトレーニングにも対応できる器具を備えています。

中でも、道内では唯一となるバーベルパワーラックは、2メートルを超える身長のアスリートに対応できる器具が導入されています。

プロ仕様のイヴァンコ社製バーベルセットやダンベルセットのほかライフ・フィットネス社製のベンチなど、世界のトップアスリートが愛用する器具を完備しています。

一口メモ

●イチローの雑学

日本の習慣では「一郎」や「太郎」は長男につけるのが普通だが、マリナーズの「イチロー」こと、鈴木一郎さんは次男。

ちなみに、長男のお兄さんの名前は一泰さん。

●日本人初のメダリスト

第5回ストックホルム大会からオリンピックに参加した日本は、第7回アントワープ大会で熊谷一弥選手がテニスで獲得した銀メダルが日本最初のメダル。ちなみに、初の金メダリストは、第9回アムステルダム大会の陸上「三段跳び」で、織田幹雄選手がはじめて獲得した。

●タイガーウッズ

プロゴルファー「タイガー・ウッズ」の本名は「エルドリック・ウッズ」。タイガーとは、父親がベトナムで戦ったときの恩人が「タイガー」と呼ばれていたため、息子にニックネームとして付けたもの。

(「スポーツの雑学集から引用」)

今年のスポーツイベント紹介

昨年に引き続き、今年も多くスポーツイベント開催が予定されています。

スポーツイベントには、選手や指導者をはじめ家族や関係者が訪れることから、街の活性化のほか、経済効果も見込まれます。今号では、今年度予定されている規模の大きなスポーツイベントを紹介いたしますので、地元選手の応援と同時にスポーツ観戦もお楽しみください。

●バレーボール

第62回北海道高等学校バレーボール選手権大会

- 日 時 6月17日(水)~20日(土)
- 会 場 総合体育館他
- 参加者 1,000人(予定)
- 主 催 北海道高等学校体育連盟
- 主 管 北海道稚内高等学校



●バスケットボール

第47回全道市役所バスケットボール大会

- 日 時 8月7日(金)~9日(日)
- 会 場 総合体育館・市体育館・緑体育館
- 参加者 500人(予定)
- 主 催 都市職員厚生会連絡協議会
北海道地区協議会
- 主 管 稚内市・稚内市職員福利厚生会



●高校野球

第18回北海道大谷学園野球交歓大会

- 日 時 8月2日(日)~3日(月)
- 会 場 大沼球場・同第二球場
- 参加者 150人(予定)
- 主 催 北海道大谷学園連合会
- 主 管 稚内大谷高等学校



●サッカー

バーモントカップ

第18回全日本少年フットサル大会北海道予選会

- 日 時 11月28日(土)~29日(日)
- 会 場 総合体育館・市体育館・緑体育館
- 参加者 360人(予定)
- 主 催 日本サッカー協会
北海道サッカー協会
- 主 管 宗谷地区サッカー協会
稚内サッカー協会

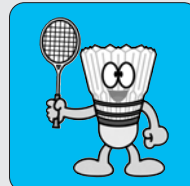


●バドミントン

第42回北海道高等学校新人バドミントン大会兼

第38回全国高等学校選抜バドミントン大会北・北海道予選会

- 日 時 平成22年1月13日(水)~16日(土)
- 会 場 総合体育館
- 参加者 200人(予定)
- 主 催 北海道バドミントン協会
北海道高等学校体育連盟
- 主 管 名寄地区バドミントン協会
稚内バドミントン協会



われらスポーツ家族の輪



⑧ 宮崎 哲也さん一家 (敬称略)

家族でスポーツに取り組み、楽しんでまいるスポーツ家族の輪をつなごう。今号では、前号の「籬 克樹」さんから紹介のあった「宮崎哲也さん一家」です。

■哲也(てつや) アルペン少年団育成会副会長。小学校から中学校までは、剣道に打ち込む。実は、小学校5年生から始めたスキートのほうが大好きで現在は指導員としても活躍中。

■妻・里香(りか) 中学校ではバスケットボール部、高校ではソフトボール部に所属。現在は、子どもたちと一緒にやっぱりスキーを楽しむ。

■長男・綜太(そうた) 南中学校2年生。小学校1年生からアルペン少年団に所属。昨年、初の全道大会出場で自信がつき、目指すは全国大会と意気込んでいる。(合言葉は、冬季オリンピック出場！)

■長女・琴奈(かな) 港小学校4年生。小学校1年生からアルペン少年団に所属。小学校2年生から全道4位の成績。(目標は、世界！)

■次女・純奈(じゅんな) 港小学校2年生。小学校1年生からアルペン少年団に所属。昨年、初の全道大会出場で見事準優勝。(兄妹で一番の負けず嫌い。)

■哲也さんからのコメント 家族でスキーを楽しむことができて、とても幸せです。冬は、毎週子どもたちの大会に家族全員で山に出かけています。